



給食センターの建設予定地の再考を求める

満場一致で附帯決議を可決

～平成24年度予算及び関連諸議案を賛成多数で可決～

第1回
定例会



まち歩き観光の拠点「観光交流センター」



にぎわう城周辺



岸和田駅前の観光案内所

定例会の概要

第1回定例会では、新年度の予算や関連する議案、副市長の人事案件など40件が市長から提案され、原案のとおり可決しました。

議員からは、平成24年度一般会計予算に対する附帯決議案などを提案し、可決しました。

2月23日に開会し、諸般の報告の後、平成23年度補正予算など12件の議案が市長から提案され、各常任委員会で審査を付託しました。3月1日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、満場一致で可決しました。

続いて、24年度の予算や関連議案24件を議題とし、市長から施政方針が表明されました。

7日・8日には、施政方針について会派代表者による総括質問(2面と3面に掲載)の後、12人の委員で構成する予算特別委員会を設置し、新年度予算や関連議案の審査を付託しました。

9日・16日の予算特別委員会では、予算が市民本位で、事業の重要性や費用対効果などを考慮し編成されているかなどに主眼を置き審査した結果、賛成多数で可決しました。

21日には、予算特別委員

長から審査結果の報告を受けた後、次のような反対討論がありました。

「国民健康保険料や各種保険料の値上げは、市民生活を圧迫する。また、保育所の民営化や学校給食の民間委託などは、公的責任を後退させる」

起立表決の結果、賛成多数で可決しました。

また、議員から、一般会計予算のうち中学校給食施設整備事業については、建設予定地の再考を求める附帯決議案を提案し、満場一致で可決しました。

続いて、市長から、副市長などの人事案件4件について提案され、それぞれ同意しました。

次に、議員から、委員会条例の一部改正案を提案し、満場一致で可決しました。

最後に、議会運営委員会は議会閉会中も継続して調査することに決定し、閉会しました。

予算特別委員長報告(要旨)

新年度関連議案を審査

- 提案された平成24年度予算及び関連諸議案には、乳幼児医療費助成の入院分の小学6年生までの拡充、久米田・中部両地区の市民センター建設への着手、中学校給食の実施への取り組みなど、市民福祉の向上や将来のまちづくりに向けた取り組みが認められ、賛成多数で可決しました。
 - また、全委員の総意で、24年度一般会計予算に対する附帯決議案を提案し、満場一致で可決しました。
- 主な意見・要望**
- ▽国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料は、減免制度を含め市民の負担増に歯止めを
 - ▽危機管理の専門性を高めるため、自衛隊OBの危機管理部署への配置を
 - ▽小・中学校、幼稚園、保育所の耐震化を早期に完了し、空調設備整備計画の策定を
 - ▽避難所となる学校施設の防災機能・設備の向上を
 - ▽最少の経費で最大の市民サービスを提供できるように、今まで以上に戦略的な行政経営を
 - ▽生活保護受給者への自立支援と不正受給者の取り

【予算特別委員】

- | | |
|-------|-------|
| ○鳥居宏次 | ○桑原佳一 |
| 西田武史 | 岩崎雅秋 |
| 米田貴志 | 岡林憲二 |
| 雪本清浩 | 井上源次 |
| 西村芳徳 | 岸田孝三 |
| 井上孝三 | 井上孝三 |
| 今井孝三 | 今井孝三 |

○委員長 千代子
○副委員長

満場一致で可決した附帯決議を正副議長から市長に申し入れ

平成24年度一般会計予算に対する附帯決議の要旨

23年第4回定例会の文教民生常任委員会のなかで中学校給食センターを阪南2区に建設するなどの中間まとめの報告がなされたが、委員から東日本大震災を踏まえて、建設予定地などの再考を求める意見が相次いだ。

しかし、今回、24年度一般会計予算として、阪南2区を前提とした中学校給食センターの設計等委託料及び土地購入費用が計上されている。

中学校給食は、何よりも安全性が優先されなければならないため、選定に当たっては、

- 公共施設の適正配置の観点から、どの中学校にも作りたての温かい給食を提供できるように、市域の中央部が望ましい。
- 選定地は、ごみを処分する岸和田市貝塚市クリーンセンターが隣接している。
- 阪南2区は、国の中央防災会議の被害想定が出ていない現時点では、津波や液状化被害の恐れが払拭できない。

以上の理由から、改めて阪南2区以外の建設地を選定されたい。

縮りの強化を
▽事業の選択と集中をさらに推し進め、早急に十分な財源措置を